

# 自衛隊の米艦防護常態に

## 安保法5年一体化が加速

自衛隊任務を拡大した安  
全保障関連法は19日で成立  
から5年となった。米軍艦  
艇や航空機を守る「武器等  
防護」は常態化する傾向で、  
安倍晋三前首相が目指した  
「日米同盟の深化」は自衛  
隊と米軍の運用一体化の形

### 安保法成立後の主な動き

2015年 9月19日	安倍政権で安全保障関 連法が成立
16年 3月29日	安保法が施行
11月	南スーダン国連PKO の陸上自衛隊部隊に 「駆け付け警護」の任 務付与を閣議決定
17年5月	海上自衛隊の護衛艦が 初の「武器等防護」を 実施
18年12月	政府の中期防衛力整備 計画に、いずも型護衛 艦の事実上の空母化盛 り込む
20年 9月11日	安倍首相(当時)がミ サイル阻止に関する談 話を発表
16日	菅内閣が発足

で加速する。菅義偉首相は  
「日米同盟を基軸とした外  
交・安保政策」の路線を継  
承する。同盟の役割分担と  
自衛隊装備を変容させ得る  
「敵基地攻撃能力」保有の  
是非は年末に方向性を示す  
意向だ。(関連記事27面)

岸信夫防衛相は18日の記  
者会見で「安保法の成立で  
日米同盟はかつてないほど  
強固になった。地域の平和  
と安定にも寄与している」と  
強調した。

安倍内閣は安保法成立  
後、いずも型護衛艦の事実  
上の空母化や、米国製ステ  
ルス戦闘機F35の大量調達  
を決め、米軍との連携を念  
頭に置いた自衛隊装備の強  
化を推進した。

安保法は政府の憲法解釈  
を変更して集団的自衛権行  
使を認め、賛否両論を巻き  
起こした。安倍政権は野党  
提出の内閣不信任決議案を  
否決した後、2015年9  
月19日未明の参院本会議で  
成立させた。

これまで集団的自衛権行  
使の例はない。平時から米  
軍を守る武器等防護は20  
17年に2件、18年に16件、  
19年に14件と積み上がる。  
防衛省は「米軍の運用に直

結する」として実施場所や  
時期を明らかにしていな  
い。

安保法は国際平和協力活  
動の任務拡大も含む。昨年  
4月、新任務のうち国連が  
統括していない「国際連携  
平和安全活動」を初適用し  
てエジプト・シナイ半島の  
「多国籍軍・監視団」(M  
FO)司令部に自衛官を派  
遣した。

16年には南スーダン国連  
平和維持活動(PKO)に  
派遣した陸上自衛隊部隊  
に、武器を使用して他国の  
要員を助ける「駆け付け警  
護」の任務が付与された。  
遂行する機会がないまま撤  
収した。